

さいわい 虹 便り

No.96

発行者 吉田唯之 柳原智江 古賀幸恵 渡辺恵里

かわい
い
家
族

三月二十日は、『動物愛護デー』
日頃、私たちに寄り添い、癒してく
れる動物達は、かけがえのない存在
です。
今回は、利用者様の可愛い家族を
ご紹介いたします。



ゆきちゃん・すずちゃん

久保昭廣様宅の文鳥の『すずちゃん』
(右)と『ゆきちゃん』(左)。
お母さんとは、以心伝心。鳴き方で、お
よつの催促が通じます。好きなおやつは、
小松菜・ブロッコリー、そして一番のお気
に入りは豆苗。カットされて
いない豆苗の中で遊びながら
食べるのが大好き。



メグちゃん



進藤美枝子様宅の
ゴールデンレトリバーの
『メグちゃん』。お母さん
が「メグちゃん、チンして」
とお願いするとベルを鳴らし
てくれます。
時折、カ一杯鳴らした
ベルが飛んで行ってし
まい、家族を笑わせて
くれるそうです。



お手てが大きくてベルが隠れ
てしまいました！が、しっか
り押してくれています。



さいわい虹便りは、ホームページでもご覧いただけます。
(バックナンバーも公開中です。)

さいわい虹だより



<https://sekishinkai-zaitaku.jp>

QRコードからも
アクセスできます



「暮らして安心エントランス」 こんなときは？」

その四

ねずみ被害に困った！



習性を知って、適切な対策をとりましょう。

ねずみが出る時期は一年中。特に冬はねずみが自宅に侵入しやすい時期です。

どうして冬なの？

冬になるとえさや繁殖しやすい環境を求め、室温が高く、雑食性のねずみにとってえさが豊富にある住宅の中に侵入することが多くなります。



ねずみを住みにくくする三つの対策

対策① えさ(餌)をなくす
● 食べ物を放置すると、ねずみのえさになります。戸棚や密封容器に入れて保管しましょう。
● 供物、生ごみ、ペットフード、固形石鹸等もねずみは狙っています。

対策② 整理整とん

● 使っていない部屋に衣類等をしまい込んでいませんか？ 巣材として衣類、ビニール、紙くず等を利用します。放置せず屋内外の整理整とんをしましょう。

対策③ 侵入口をふさぐ

● ドアの隙間、通風口、戸袋、換気扇等わずかな隙間からも自由に入ることができます。
五〇〇円硬貨(直径二十六mm)の大きさでも通り抜けられます！
ねずみの出入りしそうな隙間はふさぎましょう。
● 金網、金たわし、パテ等は「隙間ふさぎ」の材料として有効です。

ほかにも常に部屋に人がいる気配があるようにすることも(ロボット掃除機を動かしておく等)ねずみの侵入を防ぐ対策になります。

対策①～③の全てを実施し、ねずみが住みにくい環境を整えることで自宅に侵入したねずみもいずれ退散します。

自分たちでできるねずみの駆除方法

●粘着シート

しくみは簡単で、ねずみの通り道に強力な粘着剤が塗ってある厚紙（粘着シート）を置いて、ねずみを粘着させるだけ。その粘着力はかなりの強力で、ペットの犬や猫が間違っただかかってしまったら、毛ごと除去しなければならぬほどです。ペットを飼っているご家庭で使用する場合にはくれぐれも注意しましょう。

●捕獲カゴ

えさを置いて誘引して金具で挟むバネ式タイプのもので、一度入ったら出られなくなります。

●超音波

ねずみにとって不快な周波数の音を発生させる機械で、これをつけておけば家に入ってこなくなる可能性があります。人間にはさほど気にならない音ではないため、人が騒音に悩まされることはありません。



左から、超音波を発する機械、捕獲カゴ、粘着シート（一例）

これらは各区役所で貸し出し可能（二週間～一ヶ月程度）です。詳しくは区役所までお問い合わせください。

※ねずみの駆除等の業者依頼が必要な場合に区役所では

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会

☎ 045 (681) 85085

☎ 0120 (064) 643 ※神奈川県の固定電話に限り、

を案内しています。（駆除費用は実費となります）

ねずみに困ったら

川崎市内各区役所にねずみに関する相談・問い合わせ窓口があります。窓口では駆除の方法について相談を受け付けています。

ねずみに関する相談・問い合わせ先

各区役所「衛生課」

（平日八時三十分～十二時、十三時～十七時）

※区役所では駆除行為は行っておりません

参考資料

川崎市 「ねずみが住みにくい環境づくり」

いざという時のために

簡易トイレ の作り方



大地震などの災害が発生した際は、断水や下水管の破損等で自宅のトイレが使用できなくなる恐れがあります。

そんなときに困らないように身の回りのものを利用して、自宅のトイレを簡易トイレとして使用できる方法をご紹介します。いざという時にぜひご活用ください。

用意するもの

- 45リットルビニール袋

(黒色だと中身が見えにくくなります)



- 新聞紙

(紙おむつや吸水パッドを代わりに使用できればベスト)



1 新聞紙を二枚程度ちぎり丸めます。



ギュッと固く握りつぶさずに、やわらかめにふわっと丸めます。

4 丸めた新聞紙を二枚目のビニール袋の上に入れます。



新聞紙に尿や便の水分を吸収させます。

2 便座を上げ、ビニール袋一枚を広げて便器の開口部を覆うようにセットします。



便器の水は、匂いを防止するために、抜かすにセットしてください。

5 用を足し終わったら二枚目のビニール袋のみを抜き取り、口を固く縛りごみとして処分します。



処分方法は自治体の指示に従ってください。

3 便座を下ろし、その上からビニール袋を一枚便座に取り付けます。



便座に巻き付けるように取り付けます。

参考：西日本新聞ホームページ「防災新聞」

簡易トイレの作り方やザという災害時のために覚えておこう

編集後記

少しずつ、気候のよい季節になってきました。まだまだ以前と同じように過ごすのは難しい状況ではありますが、「ウィズコロナ」で春を楽しみたいですね。

編集者

森由貴 渡辺文祐
本間有由実 新庄裕子
深井純子

消臭剤やウェットティッシュなども用意があると便利です。

